

日本体育科教育学会 ～大分方式の体育専科についての発表～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

7月8, 9日に順天堂大学で行われた表記の学会のシンポジウムに登壇させていただきました。

今大会のテーマは「小学校体育専科教員の役割と教員養成の在り方」です。最初に文部科学省初等中等教育局企画官の鈴木文孝氏から情報提供として、「小学校高学年における教科担任制の推進について」のお話をいただき、その次が私で、「大分方式の体育専科教員をしながら感じてきたこと」について紹介させていただきました。その後は、春日部市立上沖小学校の鈴木美江校長先生から「高学年における教科担任制について ～体育専科教員の在り方～」, 国土館大学の細越淳二先生から「小学校体育専科教員の役割と教員養成の在り方 ～体育授業と肯定的な学級集団の育成, 大学教員の立場から～」という流れで、

国, 体育専科, 管理職, 大学の先生の立場から発表して、フロアの参観者に考えて頂きました。

私自身, このような歴史ある学会で発表できるような実践者ではありませんが, 何事も勉強だと思い参加させて頂きました。今回とても勉強になったので, できれば来年も一般参加で参加したいと思っております。

日本体育科教育学会 第28回大会
順天堂大学 スポーツ健康科学部
Seiryu University Faculty of Health and Sports Science

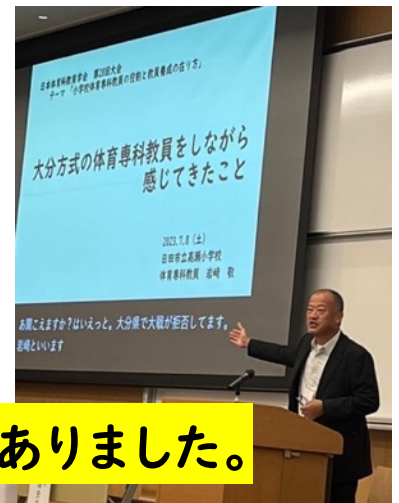
第28回大会 順天堂大学
テーマ「小学校体育専科教員の役割と教員養成の在り方」

会期: 2023年7月8日(土)・9日(日)
会場: 順天堂大学 さくらキャンパス

テーマ「小学校体育専科教員の役割と教員養成の在り方」

演者
鈴木 文孝 (文部科学省初等中等教育局) オンライン
岩崎 敬 (大分県日田市立高瀬小学校)
鈴木 美江 (埼玉県春日部市立上沖小学校)
細越 淳二 (国土館大学)

司会進行
三田部 勇 (前半: 趣旨説明・演者紹介・話の内容の整理、総括)
近藤 智晴 (後半: 分散会の意見集約、フロアとの協議)
山本 理人 (ファシリテーター)



今回もたくさんの先生との出会いと学びがありました。



この学会に参加して気付いたことです。体育の教科担任については今のところ、下記の4つのパターンに大別できるようです。

<体育の教科担任の4パターン>

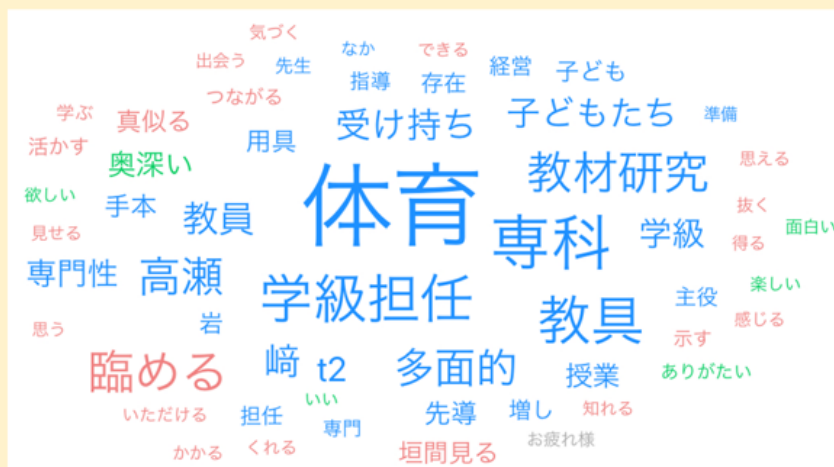
- ① 体育科のみを担当する専科教員
- ② 学級担任と T.T により, 体育科のみを担当する専科教員
(岩崎が今行っている方法)
- ③ 他教科も受け持ちつつ, 体育科を専門教科として担当する教科担任
- ④ 従来通り全教科行う学級担任

ここからは、岩崎が学会でお話した内容の一部と、大分方式の T.T に関する事例を補足します。

本校職員の体育専科のイメージはこんな感じでした。

勤務の実態 (成果・課題)

体育専科教員って担任の先生にとってどんなものですか？



テキストマイニング (ユーザーローカル) で表示

勤務の実態 (成果・課題)

体育専科教員って担任の先生にとってどんなものですか？

<時間的に>

教材研究しなくていい。
道具出し、ライン引きしなくていい。
空き時間が増える。

<参観する側として>

楽しい授業のアイデアをいただける。
自分でもやりたなと思える。
体育の奥深さを知れる。
子どもの様子を多面的に観察できる。

意外に少ない授業道具と, 異校種間異動の注意点。

勤務の実態 (成果・課題)


体育主任は若い人が多い→必要な物がわからないのか
or 欲しいと言えないのか→物が無い!



体育専科は遠慮せず
一気に買っています。

中学校から専科教員として小学校に赴任する時の注意点

例えば 市販のボールではなくレジボールでゲームをする。



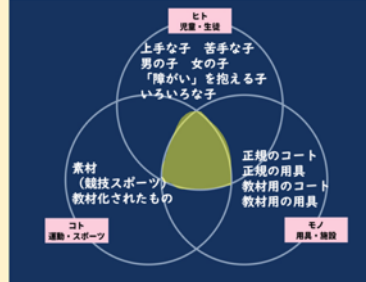
レジボールのメリット・・・掴みやすい 無駄に転がらない 痛くない

中学校から専科教員として小学校に赴任する時の注意点

~~中学校勤務時代は部活動(正規のルール)の影響を受けていた。~~

↓

小学校の体育授業では、学習者の実態に合わせた教材作りをする力が必要。



Hit (経験・主流)
上手な子 苦手な子
男の子 女の子
「障がい」を抱える子
いろいろな子

教材 (競技スポーツ) 教材化されたもの

正規のコート 正規の用具
教材用のコート 教材用の用具

コート 運動・スポーツ

モノ 用具・施設

多忙化の中で T2 の主指導時数が増えにくい。

勤務の実態 (成果・課題)

T1, T2の入れ替え授業の様子



岩崎と職場が変わり、体育の研究授業をすることになると相談がくるが、同じ職場の時はそれほど体育の話題にはならない。

勤務の実態 (成果・課題)

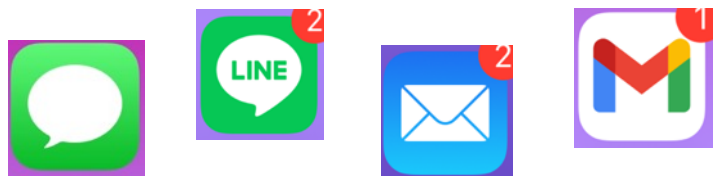
職員室で体育の話題にならないので (時間が無い)、職員向け体育専科通信を、先生方の机上に置かせてもらっています。



ファイリングはしてもらえているようです。

勤務校が変わってから相談が来ることもある。

- 例) ・表現運動の授業をどうしたらいいか。
- ・以前一緒にやったゴール型ゲームをしてみたいが。
- ・今の学校には用具が無いので、用具を貸してくれないか。
- ・体育の研究授業をするようになったのでどうしたらいいか。
- ・岩崎が体育授業で使っていたワークシートを送ってほしい。



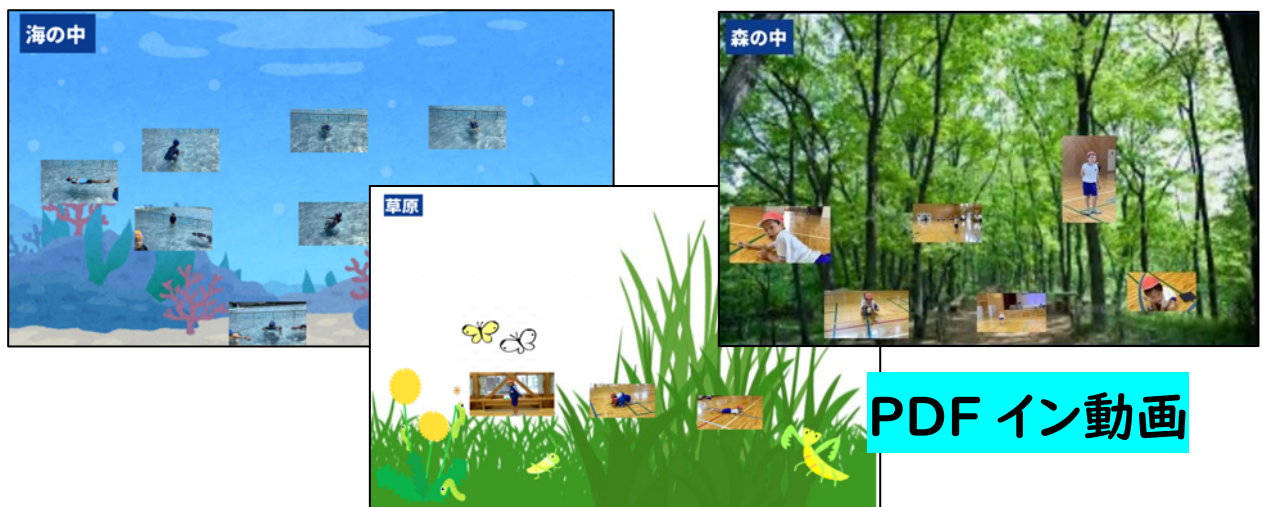
などなど問い合わせが来ます。

帰宅後に、熱心な先生からお仕事いただくことが増えてきました。

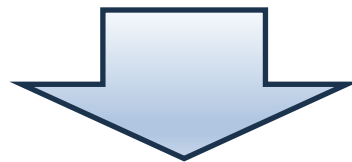
T2 の先生から学ぶことが多々ある。

例) 表現運動

岩崎は子どもたちがテキスト（場面）を選び、なりきって即興的に表現し、貼り付けていく授業を行なっていました。



ここに、T2をやっていた担任の先生がT1をすると。



岩崎不在の間に T2だった先生がバージョンアップ!



担任の先生は、シンキングツールで想像したことを言語化させたのち、動作化して貼り付けさせていました。

一人では思い浮かばないようなアイデアが生まれるのが T.T の良さです。

さて、これから体育は一体どのような方向に進むのでしょうか。